

令和5年度 北海道釧路北陽高等学校 学校関係者評価集計

【評価記入】 4：適切である 3：やや適切である 2：あまり適切ではない 1：適切でない

	領域		質問項目	自己評価 平均	学校関係者評価		学校関係者の意見等
					自己評価の 適切さ (評価平均)	改善に向け た取組の適 切さ (評価平均)	
教育 目標	教育 目標	1	目標について共通理解を図り、目標を生かす努力がなされている。	3.0	4.0	4.0	
	SM *	2	多様な進路希望に対応するとともに、個性や能力を伸ばし、国際的な視野で物事を考え、地域社会に貢献する人材育成ができています。 *SM：スクールミッション	3.1	4.0	4.0	
教育 活動	学習 指導	3	単元の指導計画に基づき指導と評価の一体化を図るとともに、評価の結果を授業改善に生かしている。	3.1	4.0	4.0	・現役大学生徒を含め、OB・OG等に講師をお願いしてはどうか。
		4	ICTの強みを生かし、個々の生徒の特性に応じて、目指すべき資質・能力を身に付けさせている。	2.8	3.8	3.8	
		5	生徒の実態を的確に把握し、習熟に応じた指導内容や指導方法を検討・工夫している。	3.3	4.0	3.8	
		6	一単位時間の授業において、生徒が自らの学習状況を振り返る場面を設けている。	2.9	3.8	3.8	
	生徒 指導	7	関係機関や家庭と連携して個々の生徒への理解を深め、共感的で組織的な生徒指導を進めている。	3.3	4.0	4.0	
		8	外部講師等を活用して、生徒理解や教育相談の手法等について研修を深めている。	2.6	4.0	4.0	
		9	教育活動のあらゆる場面で、生徒が自ら判断し行動する場面を積極的に設けている。	3.0	4.0	4.0	
	進路 指導	10	個々の生徒のキャリア発達に応じ、教育活動のあらゆる機会での自己の在り方・生き方について考えさせる場面を設けている。	3.1	4.0	4.0	
		11	なりたい自分（目標）と、今の自分（現実）のギャップを真摯に受け止め、目標に向かって努力する大切さを伝えている。	3.1	4.0	4.0	
	健康・ 安全 指導	12	家庭との連携を密にして、生徒の生活状況を把握し、その改善と向上に取り組んでいる。	3.1	4.0	4.0	
		13	生徒の言動に注意を払い、受容的な態度で面談や声かけを行っている。	3.4	4.0	4.0	
		14	教科横断的な視点で、命の大切さや、自己の存在のかけがえのなさについて伝えている。	3.0	4.0	3.8	
		15	互いに認め合い、他者を尊重し合う生徒集団づくりに努めている。	3.2	4.0	3.8	

*裏面に続きます

	領域		質問項目	自己評価 平均	自己評価の 適切さ	改善に向け た取組の適 切さ	学校関係者の意見等
学 校 運 営	コンプ ライア ンス確 立と働 き方改 革の推 進	16	教育公務員としての自覚を持ち、教員相互のチェック体制を確立するとともに、相手意識を持って業務を推進している。	3.4	4.0	4.0	・教員の長時間労働がしばしば話題になって いますが、教員の負担軽減に向けた具体的 な取組についてご紹介いただければ幸いです (次回の協議会にでも)。
		17	教員相互のコミュニケーションを密に行い、特定の教員に業務が偏らないよう、組織的に業務を行っている。	2.8	3.8	3.5	
		18	職員室や準備室等の整理整頓を常に行い、個人情報や金銭等の管理を確実にしている。	3.3	4.0	4.0	
		19	各分掌や年次等が短期的・中期的視点から評価指標を設定し、業務の推進・評価・改善に取り組んでいる。	3.1	4.0	3.8	
	学 信 校 頼 づ さ く れ り る	20	地域の方へ学校の教育方針などの周知を図り、学校行事等への協力や相互理解を深める手立てを講じている。	3.0	3.8	4.0	・市立高校のメリット及び北陽高校の魅力を 広くPRしてはどうか。
		21	保護者等と連絡・連携を密に行いながら生徒への指導を行っている。	3.2	4.0	4.0	
		22	生徒や保護者のニーズを踏まえ、質の高い教育活動を実現し、市立高等学校として特色ある学校づくりを推進している。	2.9	3.8	4.0	
	組 織 運 営	23	校務の分担は経営の効率化及び教職員の職能を助ける適切な校内人事である。	2.5	3.8	4.0	・教職員数が足りないのではないか。
		24	職員がそれぞれの職責を果たし、組織としての機能が十分に働いている。	2.8	3.8	4.0	
		25	報告・連絡・相談が教職員間で日常からされており、円滑に業務が進められている。	2.8	3.8	4.0	

全体の平均	3.0	3.9	3.9
-------	-----	-----	-----